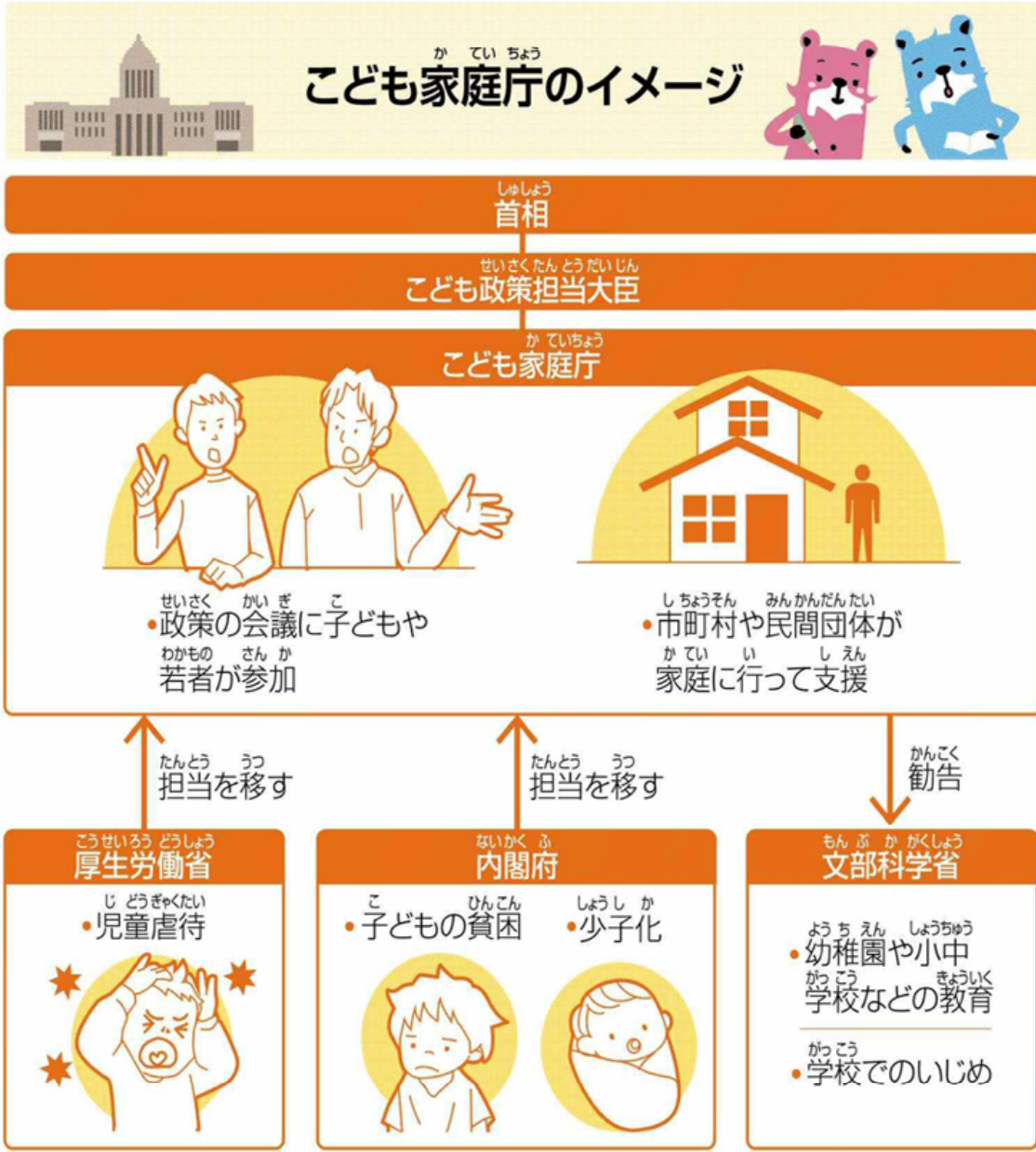




年 組 名 前

道新 ワークシート

子どもも親も 生きやすい社会に



いじめ対応は文部科学省のまま

いじめは子どもに関わる重要な問題ですが、学校が親などに正直に事実を明かさないと批判がしばしば聞かれます。こども家庭庁に担当を移すことで、いじめ対策が進むのではないかと期待する声もありました。

ところが、学校でのいじめをふくむ教育分野は文部科学省が今まで通りに担当することが決まりました。幼稚園や小中学校の教育をこども家庭庁に移す案もありましたが、文科省が反対し

ため見送られました。こども家庭庁を担当する大臣は、他の役所に政策を改めるよう求める「勧告権」を持つこととなります。もし、いじめ問題で文科省の対応が不十分な場合には、改善や説明を求めることができます。ただ、子どもの政策を担当する役所が分かれている問題が続くことになり、だれが責任を持つのか分かりにくいという声もあります。

「こども家庭庁」新設へ

国が「こども家庭庁」という役所をつくることになりました。子どもに関する政策を進める中心となる組織で、子どもがもっと生きやすく、子育てしやすい社会にすることが目的です。2023年4月に発足予定です。

子どもの政策の担当は現在、いろいろな役所に分かれています。例えば、児童虐待（親が子をひどくあつかう問題）や保育は厚生労働省、幼稚園や小中学校などの教育は文部科学省、少子化（子どもの減少）の対策は内閣府です。しかし、少子化は止まらず、児童虐待

虐待や貧困などの問題担当 若者も会議に参加

こども家庭庁はこうした問題を引き受ける組織として設置されます。首相の考えが伝わりやすいよう、首相が直接、かんとくする機関とします。子どもや子育てを

今までの政策では、保育所や幼稚園などに通っていない

子どもには支援が届きにくい面がありました。こうした子どもには、市町村や民間団体の人が家庭に行き、困り事がないかを聞いたりする支援を充実させます。日本は国が子ども政策に使うお金が少ないといわれます。岸田文雄首相は倍に増やしたいと話していますが、いつ、いくらにするのかはつきりしていません。

も増え続けています。新型コロナウイルスのえいきよで、子どもたちが生きる環境はさらに厳しくなっています。親の収入が減って生活が苦しい家庭も増え、食事に困る子どもも少なくありません。

担当する部署を厚生労働省や内閣府から移し、子どもや親を支援している民間団体の人も加わってもらいます。大人の考えだけで対策を進めないよう、子どもの声を聞くことも大切です。政策を議論する会議に子どもや若者に参加してもらったり、交流サイト（SNS）を通じて意見を聞いたりする取り組みを進めます。



年 組 名前

道新ワークシート

①「こども家庭庁」がつけられた目的、どのような政策を進める組織か書きなさい。

②日本の子ども政策の課題を読み取りなさい。

③子どもに関わる問題に対して、解決のために自分自身にできることはないか、自分の考えを書きなさい。